

内視鏡リプロセス評価

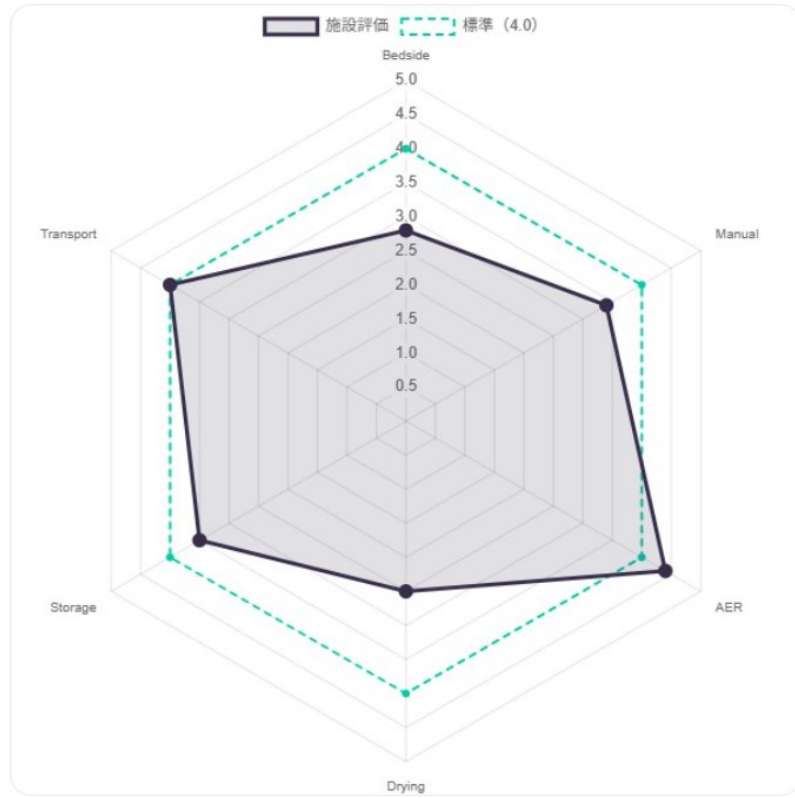
Advanced Endoscope Reprocess

所属部門 内視鏡部門（内視鏡室・消化器内科・外来兼任）
職種 看護師
評価日 2026/03/05
施設規模 中規模（201～500床）

工程別スコア（施設評価 vs 標準4.0）

工程	平均スコア	標準
I. ベッドサイド洗浄	2.80	4.0
II. 用手による事前洗浄	3.40	4.0
III. 洗浄・消毒（AER）	4.40	4.0
V. 乾燥	2.50	4.0
VI. 保管	3.50	4.0
VII. 搬送	4.00	4.0
全体	3.4333	4.0

レーダーチャート（施設評価 vs 標準4.0）



評価軸（5段階）

- 1 未定義 2 暫定運用 3 手順あり 4 定期的に遵守管理 5 継続改善

※本評価は、回答内容に基づく現状把握を目的とした参考資料です。

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

詳細評価（工程別）

I. ベッドサイド洗浄

平均スコア：2.80（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

- q06 検査終了後、施設ルールに基づき、遅延なく速やかにベッドサイド洗浄が開始されている（3）
- q10 ベッドサイド洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている（1）

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

ベッドサイド洗浄はいち早く実施するようにしているので、記録は残せていない。

II. 用手による事前洗浄

平均スコア：3.40（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

- q14 内視鏡の外表面について、内視鏡全体が洗浄剤に完全浸漬されている（2）
- q18 用手による予備洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている（2）

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

内視鏡メーカーの取説を参照しながら手順書を作成している

III. 洗浄・消毒（AER）

平均スコア：4.40（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

該当なし

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

履歴管理システムで記録を残している

※本評価は、回答内容に基づく現状把握を目的とした参考資料です。

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

詳細評価（工程別）

V. 乾燥

平均スコア：2.50（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

- q34 乾燥完了の判断について、感覚のみに依存せず、施設で定めた方法により確認されている（1）
- q35 乾燥工程の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている（1）

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

アルコールフラッシュを実施している

VI. 保管

平均スコア：3.50（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

- q37 内視鏡の保管場所および保管方法について、施設内で明確に定められている（2）
- q39 再処理が必要となる条件について、施設ルールとして明確に定められている（3）
- q40 内視鏡の保管状態について、履歴および追跡が可能となっている（2）

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

その日に使用しない内視鏡は保管庫に吊るしている

VII. 搬送

平均スコア：4.00（標準：4.0）

標準4.0に達していない項目

該当なし

評価理由・現状に関するコメント（自由記述）

洗浄室が狭いので、どうしても清潔と不潔が交差するところがある

※本評価は、回答内容に基づく現状把握を目的とした参考資料です。

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

同一担当者×同一顧客 内比較 (回答者 vs 平均)

VIII. 同一担当者×同一顧客 内比較 (回答者 vs 平均)

同条件の回答数：0

※N=1のため、平均との差分は表示していません。

工程別サマリ

工程	回答者	平均	差
I. ベッドサイド洗浄	2.80	—	—
II. 用手による事前洗浄	3.40	—	—

I. ベッドサイド洗浄

ID	質問	回答者	平均	差
q06	検査終了後、施設ルールに基づき、遅延なく速やかにベッドサイド洗浄が開始されている	3.00	—	—
q07	内視鏡の外表面について、適切な方法で拭き取りが実施されている	4.00	—	—
q08	洗浄液を吸引し、吸引チャンネル内の前処理が行われている	4.00	—	—
q09	送気・送水チャンネルに対して、適切に送水が行われている	4.00	—	—
q10	ベッドサイド洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	1.00	—	—

II. 用手による事前洗浄

ID	質問	回答者	平均	差
q14	内視鏡の外表面について、内視鏡全体が洗浄剤に完全浸漬されている	2.00	—	—
q15	使用する洗浄剤は洗浄剤メーカーの取扱説明書に記載された濃度・温度・時間で使用されている	4.00	—	—
q16	吸引チャンネルおよび鉗子チャンネルに対して、適切にブラッシングが行われている	5.00	—	—
q17	すべてのチャンネルへ、施設で定めた洗浄剤の量を通過するためフローアシスト装置またはシリンジ等が用いられている	4.00	—	—
q18	用手による予備洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	2.00	—	—

※本評価は、回答内容に基づく現状把握を目的とした参考資料です。

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

同一担当者×同一顧客 内比較 (回答者 vs 平均)

VIII. 同一担当者×同一顧客 内比較 (回答者 vs 平均)

同条件の回答数：0

※N=1のため、平均との差分は表示していません。

工程別サマリ

工程	回答者	平均	差
III. 洗浄・消毒 (AER)	4.40	—	—
V. 乾燥	2.50	—	—
VI. 保管	3.50	—	—
VII. 搬送	4.00	—	—

III. 洗浄・消毒 (AER)

ID	質問	回答者	平均	差
q23	洗浄・消毒作業の前に、毎症例漏水テストが適切に実施されている	4.00	—	—
q24	消毒には高水準消毒薬を使用している	5.00	—	—
q25	使用中の消毒薬について、適正濃度であることを消毒薬の取扱説明書に記載された方法で確認している	4.00	—	—
q26	内視鏡洗浄消毒装置について、日常点検や作動確認が施設ルールに基づいて実施されている	5.00	—	—
q27	内視鏡洗浄消毒装置の設定内容・消毒薬濃度・実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	4.00	—	—

V. 乾燥

ID	質問	回答者	平均	差
q32	洗浄・消毒工程の完了後に、内視鏡の乾燥工程が実施されている	4.00	—	—
q33	乾燥の方法および乾燥時間について、施設で定めた基準に基づいて運用されている	4.00	—	—
q34	乾燥完了の判断について、感覚のみに依存せず、施設で定めた方法により確認されている	1.00	—	—
q35	乾燥工程の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	1.00	—	—

VI. 保管

ID	質問	回答者	平均	差
q37	内視鏡の保管場所および保管方法について、施設内で明確に定められている	2.00	—	—
q38	保管時間に関する考え方やルールが、施設内で共有されている	5.00	—	—
q39	再処理が必要となる条件について、施設ルールとして明確に定められている	3.00	—	—
q40	内視鏡の保管状態について、履歴および追跡が可能となっている	2.00	—	—

VII. 搬送

ID	質問	回答者	平均	差
q42	内視鏡の搬送方法 (容器・経路等) について、施設内で明確に定められている	4.00	—	—
q43	搬送中の汚染・破損リスクを防ぐための対策が取られている	4.00	—	—
q44	搬送に関するルールや注意事項がスタッフ間で共有されている	4.00	—	—

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

同じ施設規模 (facility_size) の平均との差 (回答者 vs 同規模平均)

IX. 同じ施設規模平均との差 (回答者 vs 同規模平均)

同規模の回答数 : 9

工程別サマリ

工程	回答者	同規模平均	差
I. ベッドサイド洗浄	2.80	3.51	-0.71
II. 用手による事前洗浄	3.40	3.33	0.07

I. ベッドサイド洗浄

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q06	検査終了後、施設ルールに基づき、遅延なく速やかにベッドサイド洗浄が開始されている	3.00	3.33	-0.33
q07	内視鏡の外表面について、適切な方法で拭き取りが実施されている	4.00	3.78	0.22
q08	洗浄液を吸引し、吸引チャンネル内の前処理が行われている	4.00	3.56	0.44
q09	送気・送水チャンネルに対して、適切に送水が行われている	4.00	3.33	0.67
q10	ベッドサイド洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	1.00	3.56	-2.56

II. 用手による事前洗浄

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q14	内視鏡の外表面について、内視鏡全体が洗浄剤に完全浸漬されている	2.00	3.78	-1.78
q15	使用する洗浄剤は洗浄剤メーカーの取扱説明書に記載された濃度・温度・時間で使用されている	4.00	3.67	0.33
q16	吸引チャンネルおよび鉗子チャンネルに対して、適切にブラッシングが行われている	5.00	3.22	1.78
q17	すべてのチャンネルへ、施設で定めた洗浄剤の量を通過するためフローアシスト装置またはシリンジ等が用いられている	4.00	3.11	0.89
q18	用手による予備洗浄の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	2.00	2.89	-0.89

※本評価は、回答内容に基づく現状把握を目的とした参考資料です。

内視鏡リプロセス評価

Advanced Endoscope Reprocess

同じ施設規模 (facility_size) の平均との差 (回答者 vs 同規模平均)

IX. 同じ施設規模平均との差 (回答者 vs 同規模平均)

同規模の回答数：9

工程別サマリ

工程	回答者	同規模平均	差
III. 洗浄・消毒 (AER)	4.40	3.60	0.80
V. 乾燥	2.50	3.22	-0.72
VI. 保管	3.50	3.67	-0.17
VII. 搬送	4.00	3.41	0.59

III. 洗浄・消毒 (AER)

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q23	洗浄・消毒作業の前に、毎症例漏水テストが適切に実施されている	4.00	3.78	0.22
q24	消毒には高水準消毒薬を使用している	5.00	3.44	1.56
q25	使用中の消毒薬について、適正濃度であることを消毒薬の取扱説明書に記載された方法で確認している	4.00	3.67	0.33
q26	内視鏡洗浄消毒装置について、日常点検や作動確認が施設ルールに基づいて実施されている	5.00	3.67	1.33
q27	内視鏡洗浄消毒装置の設定内容・消毒薬濃度・実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	4.00	3.44	0.56

V. 乾燥

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q32	洗浄・消毒工程の完了後に、内視鏡の乾燥工程が実施されている	4.00	3.67	0.33
q33	乾燥の方法および乾燥時間について、施設で定めた基準に基づいて運用されている	4.00	3.56	0.44
q34	乾燥完了の判断について、感覚のみに依存せず、施設で定めた方法により確認されている	1.00	2.78	-1.78
q35	乾燥工程の実施状況について、履歴および追跡が可能となっている	1.00	2.89	-1.89

VI. 保管

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q37	内視鏡の保管場所および保管方法について、施設内で明確に定められている	2.00	3.56	-1.56
q38	保管時間に関する考え方やルールが、施設内で共有されている	5.00	4.22	0.78
q39	再処理が必要となる条件について、施設ルールとして明確に定められている	3.00	3.56	-0.56
q40	内視鏡の保管状態について、履歴および追跡が可能となっている	2.00	3.33	-1.33

VII. 搬送

ID	質問	回答者	同規模平均	差
q42	内視鏡の搬送方法 (容器・経路等) について、施設内で明確に定められている	4.00	3.56	0.44
q43	搬送中の汚染・破損リスクを防ぐための対策が取られている	4.00	3.44	0.56
q44	搬送に関するルールや注意事項がスタッフ間で共有されている	4.00	3.22	0.78